

住みよい地域社会に向けて

コミュニティづくりを



「活動の時間が楽しみです。」と小山市あさひ地区コミュニティのみなさん。



栃木県知事
船田 譲

みんなで参加を

みなさんが、お互いに手をつなぎ、心をふれあいながら、生きがいのある生活ができる地域社会をつくるために、私は全力をあげて県政に取り組んできました。

幸い、みなさんのたゆまぬ努力にささえられて、この目標は徐々に達成しつつあります。

特に、栃の葉国体、全国身体障害者スポーツ大会により、みなさんの活力は一段と盛り上がり、頼もしい限りです。

住みよい地域社会は、みなさんひとりひとりが、他の人を思いやり、お互いに協力しあって初めてできるものです。そのためにコミュニティづくりを積極的に進めています。

みなさんが積極的にコミュニティづくりに参加されることにより、いっそう確かな輪が広がっていくでしょう。

また、来春5月には、本県で初めて、第33回全国植樹祭が開かれ、県外からも多くの方が訪れます。明るく、親切に迎え、ふれあいを高め、本県をさらに躍進させるために、みなさんのご協力をお願いします。

♡広げよう♡ 心をつなぐふれあいを



ぼうじぼ作りはお年よりから子供たちへ。(氏家町)

第33回 全国植樹祭

昭和57年 5月22日(土)・23日(日)

うえる緑 のびる緑 まもる緑



また昨年は、緊急な処置を必要とする患者を、もつとも適した医

るということでした。さらに県内全域をカバーし、二十四時間体制



生

夏は子供期です。

子供の水の中起こつて同じ時期の3回ついでに

子供は、水の中の水の怖さをうきよと目を輝かさない悲しいです。

子供の水の中得て、ふだにも、水の中次のような

▼子供たち

よう、ふだん

▼家の近く

サクとかフ

県政テ



7月

8月

いまあなたの街のコミュニティは

コミュニティの範囲

コミュニティの範囲は、各地区の実情によって画一的に言えません。教育、医療、買物など日常生活の行動が行われる範囲、各種の自主組織がつくられる活動が行われている範囲、諸施設の利用が可能な範囲を考慮して決めるべきでしょう。

このように考えますと、コミュニティの範囲はおおむね小学校区が一般的であると言われています。もちろん町内会や自治会のような地域単位が、最も基礎的な集合体としてコミュニティを支えることになることは言うまでもありません。

施設の整備促進を図るため、必要な経費について助成しています。これは、画一的に整備すべきものではなく、地域の特性に応じて、種類、内容、配置などについて住民のみなさんが創意工夫し、住民の要求が十分組み込まれた利用しやすいものでなければなりません。それで助成の対象もその趣旨にそって幅広いものになっています。

栃木県コミュニティづくり推進協議会の運営に対する助成

昨年開催された栃木の葉国体を契機に、広く県民運動を通じて住民の間にすばらしい郷土愛と連帯の気運の高まりがみられます。こうした運動の成果を踏まえて、さらに発展させるため、県内の各種団体を構成メンバー（現在90団体が加入）として栃木県コミュニティづくり推進協議会が設立されました。協議会では、コミュニティづくりの普及啓発やコミュニティ組織の育成強化、リーダーの養成などを行うので、県ではこれに対し側面から援助しています。

県では、支え合う福祉のまちづくりをめざして、地域での福祉活動を推進するため、地域福祉活動（コミュニティ・ケア）のモデル地区を指定し、福祉活動の輪を広く全県下に広げようとしています。現在では、モデル地区のほか六市町村、二十八地区で、老人給食サービスをはじめ、老人と児童との心の交流、中学生などによる独り暮らしの老人への友愛訪問活動、福祉まつりなど各種の事業が地域社会を基盤に、より多くの人たちの参加と協力により進められています。

また、福祉活動を支えるボランティア活動も年々活発になり、現在約一万八千人の人たちが福祉活動に取り組んでいます。県では、この地域福祉活動とボランティア活動の振興を図るために、今年度「地域福祉振興基金」を設置し、これらの事業を計画的・継続的に行うための安定した財源基盤の確立を図ることとしています。この基金の目標は、当面六十年度までの五年間十億円とし、この基金からは、毎年約七千万円の果実（利息）が生まれることになり、基金への理解と協力が期待されています。

行政の役割

コミュニティづくりのために、行政はこれを促進し、協力し、行政指導型のコミュニティにならないよう留意しながら、次の施策を進めています。

コミュニティの趣旨の普及

現在、必ずしも住民の間からコミュニティづくりの気運が高まっているとは言えません。その必要性を呼び起こし、その気運を高めるために、コミュニティに関する情報を提供し、興味を喚起し、普及に努めています。

コミュニティづくりを支える福祉のまちづくり

福祉サービスが必要とする人たちが、できるだけ住み慣れた地域社会のなかで、家族や地域の人と交流しながら在宅のまま生活できるような地域社会の実現が望まれています。地域に根ざした福祉活動

県では、この地域福祉活動とボランティア活動の振興を図るために、今年度「地域福祉振興基金」を設置し、これらの事業を計画的・継続的に行うための安定した財源基盤の確立を図ることとしています。この基金の目標は、当面六十年度までの五年間十億円とし、この基金からは、毎年約七千万円の果実（利息）が生まれることになり、基金への理解と協力が期待されています。

また、福祉活動を支えるボランティア活動も年々活発になり、現在約一万八千人の人たちが福祉活動に取り組んでいます。県では、この地域福祉活動とボランティア活動の振興を図るために、今年度「地域福祉振興基金」を設置し、これらの事業を計画的・継続的に行うための安定した財源基盤の確立を図ることとしています。この基金の目標は、当面六十年度までの五年間十億円とし、この基金からは、毎年約七千万円の果実（利息）が生まれることになり、基金への理解と協力が期待されています。

また、福祉活動を支えるボランティア活動も年々活発になり、現在約一万八千人の人たちが福祉活動に取り組んでいます。県では、この地域福祉活動とボランティア活動の振興を図るために、今年度「地域福祉振興基金」を設置し、これらの事業を計画的・継続的に行うための安定した財源基盤の確立を図ることとしています。この基金の目標は、当面六十年度までの五年間十億円とし、この基金からは、毎年約七千万円の果実（利息）が生まれることになり、基金への理解と協力が期待されています。

また、福祉活動を支えるボランティア活動も年々活発になり、現在約一万八千人の人たちが福祉活動に取り組んでいます。県では、この地域福祉活動とボランティア活動の振興を図るために、今年度「地域福祉振興基金」を設置し、これらの事業を計画的・継続的に行うための安定した財源基盤の確立を図ることとしています。この基金の目標は、当面六十年度までの五年間十億円とし、この基金からは、毎年約七千万円の果実（利息）が生まれることになり、基金への理解と協力が期待されています。

かつて、町内会、自治会、隣組などは、地域住民の生産活動や、日常生活の面で欠くことのできない地域共同体として大きな役割を果たしてきました。

しかし、戦後は、プライバシーを守る考えやマイホーム主義が一般化され、隣り近所との関係や地域社会の問題が、ともすれば軽視されてきた傾向があります。それは、交通機関が発達し、マスコミが普及し、生活様式の都市化が進むにつれて、ますます強まってきたと言えます。マイホーム主義はプライバシーの確保、わずらわしさからの解放、ということもありますが、しかしそれだけではどうしても健全な家庭生活を維持できないような社会問題——生活環境の悪化、青少年の非行、交通事故の多発、独り暮らしの老人などが増えています。

そこから、住みよい地域づくりの必要性が唱えられ、住民が個人の立場を大切にするとともに、お互いを尊重し合う地域社会、言わば「新しい社会」を作り出そうとする運動が湧き起こりつつあります。

「地域をきれいに掃除し、地域をきれいにする」は住民の手で、といった活動を積み重ね、住民のみなさんが協力し合い、住みよい地域をつくること、コミュニティづくり

「地域をきれいに掃除し、地域をきれいにする」は住民の手で、といった活動を積み重ね、住民のみなさんが協力し合い、住みよい地域をつくること、コミュニティづくり

「地域をきれいに掃除し、地域をきれいにする」は住民の手で、といった活動を積み重ね、住民のみなさんが協力し合い、住みよい地域をつくること、コミュニティづくり

「地域をきれいに掃除し、地域をきれいにする」は住民の手で、といった活動を積み重ね、住民のみなさんが協力し合い、住みよい地域をつくること、コミュニティづくり

「地域をきれいに掃除し、地域をきれいにする」は住民の手で、といった活動を積み重ね、住民のみなさんが協力し合い、住みよい地域をつくること、コミュニティづくり



井戸端会議も大切なふれあいの場。(料理教室)

いにしへの文化都市

下野薬師寺、下野国分寺と国分尼寺



下野薬師寺跡にある戒壇堂。

もうひとつの那須

芭蕉も魅せられた緑の小道 那須町 ● 那須町

とちぎ路スケッチ



国道四号線を小山市に向って進み、自治医科大学の角を左に曲がって県道に出ると、そこにひっそりとしたたたずまいがひらける。安国寺である。その境内には、かつて日本三戒壇の一つとして奈良時代から平安時代に栄えた下野薬師寺跡(国史跡)の戒壇堂(江戸時代の建立)がある。寺にお願いすれば、すぐそばまで行くことができる。

下野薬師寺は、出土した古瓦などから、七世紀後半(白鳳時代)の天武天皇のころ建てられたものと伝えられている。近くには、下野薬師寺別当として流され、ここで没したといわれる弓削道鏡の塚や、鑑真和尚の碑がある龍興寺、それに桜の名所の薬師寺八幡宮があり、また田川のサイクリングコースや県南自然歩道のコースとして、南河内町の名所となっている。

ここで再び四号線に戻り、さらに西へ向かって姿川を越え、下野国分寺跡と下野国分尼寺跡がある。下野国分寺跡は、静かな平地林の中にひっそりとあり、そこから五〇〇メートルほど東に昭和三十九年(四十三)年に発掘調査され、いまは史跡公園となっている。下野国分尼寺跡がある。寺域は東西約一四五メートル、南北一六七メートルの大伽藍であった。さらに南へ四〇〇メートルほど雑木林を行くと、紫式部の墓と称する墓石があり、これまた興味深いものがある。

このように、この地帯は、昭和五十一年から発掘調査を続けている下野国分跡(栃木市田村町)とともに一大文化ゾーンであり、下野の古都でもあった。また琵琶塚などの古墳も数多く、来年初東北本線の石橋一小金井間に、新駅が開設されることになると、今後さらに「とちぎ路」の脚光を浴びるであろう。

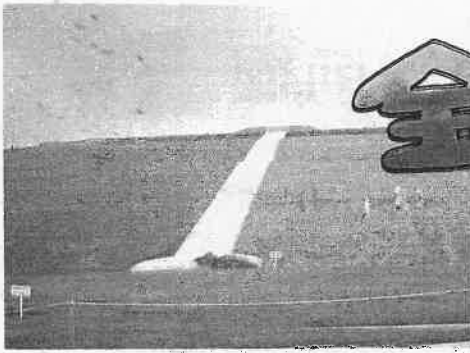


遊歩柳は四季の花々につつまれている。白坂の宿に

神の社が二つ、関東側は住吉明神(男神)、奥州側が玉津島明神(女神)で時を下ると

遊歩柳は四季の花々につつまれている。白坂の宿に

全国植樹祭まであと193日



整備された会場地。(矢板市県民の森)

運動を高めるために、コミュニティに関する情報を提供する「コミュニティづくりの趣旨の普及に努めています。」

全国植樹祭は、戦中戦後のたびなる乱伐によって引き起こされた国土の荒廃から、緑を取り戻すために、昭和二十五年に国土緑化推進委員会が設置されて以来毎年、国土緑化運動の中心となるものとして、開催県との共催で行われています。

この全国植樹祭は、森林への愛情を培うと同時に、国土保全、森林資源の確保、環境緑化の推進などを目的に、天皇・皇后両陛下のお手植え、お手まきをはじめ、全国各地からの多数の参加者による記念植樹を行います。

植樹行事は、県外三千人、県内九千人の招待者、三千人の協力者などによって盛大に式典が挙行されます。天皇陛下は、「スギ」二本、県木「トチノキ」一本を、また皇后陛下は、「ヒノキ」二本、「トチノキ」一本をそれぞれお手植えになり、参加者も「スギ」、「ヒノキ」、「広葉樹」など約一万五千本を記念植樹する予定です。

その準備は着々と矢板市内にある県民の森の会場地では、昭和五十四年から整備が始まりました。式典広場など七ヘクタールの工事は、昨年度中にほぼ終了し、今年度は、一万余人の参加者が記念植樹するための植樹地や、会場周辺を緑化するための植栽が行われました。

全国からの参加者を暖かく迎えよう。第三十三回全国植樹祭を、本県にふさわしいものとするため、種々の計画が予定されています。全国緑化運動の発展、記念映画の作成、記念碑の建立、記念切手、記念タバコの発売、県民の森の整備などの記念事業が計画されています。

植樹祭は、「うるうるの緑、のびる緑、まもる緑」をテーマに、県民一人一人が緑を守り、造り、育てる情熱で、二十一世紀に

互いを尊重し合う地域社会、言わば「新しい社会」を作り出そうとする運動が湧き起こりつつあります。「地域から交通事故をなくそう、まちをきれいにしよう、地域スポーツは住民の手で」といった活動を積み重ね、住民のみならず協力し合い、住みよい地域をつくらせてゆこうとコミュニティづくりです。

コミュニティづくりは、マラソンレースよりもっと息の長い活動です。ペースをはかり、スピードをあげすぎずにゴールを目指して頑張りましょう。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

町村の行うサービス事業とともに、地域社会のすべての人たちの連帯感と温か

コミュニティ施設の整備促進。コミュニティづくりを進めるに当たっては、多くの場合、活動の場としての施設が必要となります。県ではコミュニティ

望まれています。地域に根ざした福祉活動のために

天戸の身ま(一尾)を台詞として、基金への理解と協力が期待されています。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。

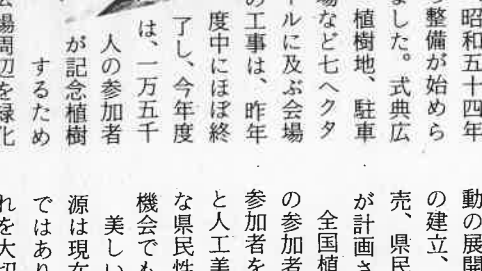
コミュニティづくりは、自分さえよければよい。直接自分には関係ない。あなたもまかせ。という考えを捨て、自らのことは、自らの力で、自らが行う。という考えのもとに、住民相互の連帯感を深めながら、地域の共通の課題の解決に自主的に参加し、取り組む身ではないでしょうか。



緑の少年団も活躍しています。(宇都宮市立城山中央小学校)



県土の57%は森林です。



樹木の配布。(栃木県の物産と観光局)



相談には懇切丁寧に……。

特に中小企業の経営者や従業員、能力開発と指導者の資質向上のために「中小企業大学講座」をはじめ、各種の研修や講習を行っています。また、日本科学技術情報センターとの提携により、日本各地の企業、商業関係の情報をその場で迅速にキャッチアップすることができるオンラインシステムを無料で提供しています。もちろん、経営相談や下請け受注のあっせん相談、機械の貸与についての相談などにも親身になって応じています。地元商工会でもセンターの窓口になっています。

「むらびり」は、二年間、大田原市広報の呼びかけがきっかけとなって始まった手話のボランティア活動のグループです。現在は、会社員や主婦、学生、そしてろうあ者など二十人を超える会員がいます。週一回、大田原市総合文化会館に集まり、手話の学習会を行い、時には市の社会福祉協議会主催の手話講習会の手話指導をしています。そのほか、県ろうあ協会那須支部など

「むらびり」は、二年間、大田原市広報の呼びかけがきっかけとなって始まった手話のボランティア活動のグループです。現在は、会社員や主婦、学生、そしてろうあ者など二十人を超える会員がいます。週一回、大田原市総合文化会館に集まり、手話の学習会を行い、時には市の社会福祉協議会主催の手話講習会の手話指導をしています。そのほか、県ろうあ協会那須支部など

「むらびり」は、二年間、大田原市広報の呼びかけがきっかけとなって始まった手話のボランティア活動のグループです。現在は、会社員や主婦、学生、そしてろうあ者など二十人を超える会員がいます。週一回、大田原市総合文化会館に集まり、手話の学習会を行い、時には市の社会福祉協議会主催の手話講習会の手話指導をしています。そのほか、県ろうあ協会那須支部など

「むらびり」は、二年間、大田原市広報の呼びかけがきっかけとなって始まった手話のボランティア活動のグループです。現在は、会社員や主婦、学生、そしてろうあ者など二十人を超える会員がいます。週一回、大田原市総合文化会館に集まり、手話の学習会を行い、時には市の社会福祉協議会主催の手話講習会の手話指導をしています。そのほか、県ろうあ協会那須支部など

「むらびり」は、二年間、大田原市広報の呼びかけがきっかけとなって始まった手話のボランティア活動のグループです。現在は、会社員や主婦、学生、そしてろうあ者など二十人を超える会員がいます。週一回、大田原市総合文化会館に集まり、手話の学習会を行い、時には市の社会福祉協議会主催の手話講習会の手話指導をしています。そのほか、県ろうあ協会那須支部など

「むらびり」は、二年間、大田原市広報の呼びかけがきっかけとなって始まった手話のボランティア活動のグループです。現在は、会社員や主婦、学生、そしてろうあ者など二十人を超える会員がいます。週一回、大田原市総合文化会館に集まり、手話の学習会を行い、時には市の社会福祉協議会主催の手話講習会の手話指導をしています。そのほか、県ろうあ協会那須支部など

「むらびり」は、二年間、大田原市広報の呼びかけがきっかけとなって始まった手話のボランティア活動のグループです。現在は、会社員や主婦、学生、そしてろうあ者など二十人を超える会員がいます。週一回、大田原市総合文化会館に集まり、手話の学習会を行い、時には市の社会福祉協議会主催の手話講習会の手話指導をしています。そのほか、県ろうあ協会那須支部など

「むらびり」は、二年間、大田原市広報の呼びかけがきっかけとなって始まった手話のボランティア活動のグループです。現在は、会社員や主婦、学生、そしてろうあ者など二十人を超える会員がいます。週一回、大田原市総合文化会館に集まり、手話の学習会を行い、時には市の社会福祉協議会主催の手話講習会の手話指導をしています。そのほか、県ろうあ協会那須支部など

「むらびり」は、二年間、大田原市広報の呼びかけがきっかけとなって始まった手話のボランティア活動のグループです。現在は、会社員や主婦、学生、そしてろうあ者など二十人を超える会員がいます。週一回、大田原市総合文化会館に集まり、手話の学習会を行い、時には市の社会福祉協議会主催の手話講習会の手話指導をしています。そのほか、県ろうあ協会那須支部など



ここは、電力最前線、

県営川治発電所

レポーター
山口チイ
●宇都宮市野沢町●主婦



昨年の冷夏とは違って変わり、今年はずっと暑い日が続きました。涼しい日が続くのは、心地よい虫の音に変わったようです。そして紅葉シーズンよりひと足早く、私は先日川治発電管理事務所を訪ねました。「省エネ」「原子力発電」「グリーン・エネルギー開発」など、マスコミを通してすっかりおなじみのところで、私はこの見学で大いに再認識することが出来ました。

まず、県営事業と聞きますと、私たちが文化や医療施設などを身近なものに感じ、県営の電気事業という地味ではあるが、大切な分野のあることを忘れがちでした。水資源に恵まれた本県に、洪水調節などを目的とした五十里ダムが、建設省の肝入りで昭和二十五年に着工されました。そのおかげで電力供給を通して県内産業の発展をねらいに、このダム利用による電源開発を計画し、その第一歩を踏み出したそうです。そして昭和三十一年の川治第一発電所の完成を皮切りに、第二発電所、

湯西川発電所続いて風見、板室と五つの発電所を完成させました。事務所では、川治第一、第二、湯西川の三カ所を管理運営し、スタッフはわずか二十九人で、二十四時間体制をとっているとのこと。特に台風シーズンには、各発電所への連絡や何やら、一番多忙な時期だそう。また、「県北の山中から送られる電力は、どんな形で私たちの生活に入ってくるのですか?」

「この電力は、ごそんじの東京電力に県が一括卸売して、そこから各産業、一般家庭へと流れるわけです。しかし県内電力の供給が必要に追いつかなくなった現在、水力発電所の電力は、使用量の



一二%にしかすぎません。つまり本県は電力の輸入県なのです」と、所長さんのわかりやすい説明が続きしました。

そのとき、所長さんが下さった県の資料により、火力発電に七五%も頼っているという現状が図示されていました。職員の方たちも、「いま叫ばれているグリーン・エネルギー開発の立場から

も、水力発電はやはり重要ですね。また「昭和三十三年までは、八〇%が水力発電だった訳で、それまでの栃木県は電力を輸出する側にありました」とキメ細かに説明してくれました。

今日の商工業の目ざましい発展と生活水準の向上は、電気と切り離しては考えられません。一般家庭の電力使用量のグラフを見てもやはり「省エネ」を強く訴えています。あのオイルショックのあと、昨年の冷夏は、県内の最大電力消費量のグラフが確実に横ばいになっていますが、今年の猛暑時は百五十六万キロワットのピークに達していました。この川治からの発電力は、県民生活のごく一部のエネルギー源にすぎませんが、紅葉の川治を訪れたときは、社会科学見学も兼ねて家族でぜひ発電所を訪ねてはいかがでしょう。きっと「電気」があらためて身近な話題となり、新しい発見ができるかも…。



電気のできるまでの説明を所長さんから受けました。

フツフツ

**心に響く
アイのシグナル**

このシグナルは、目の不自由な人が手助けを求めるときに使います。発信音を聞いたなら迷わず愛の一声をかけましょう。

お気付きですか 栃木県交通安全シンボルマーク



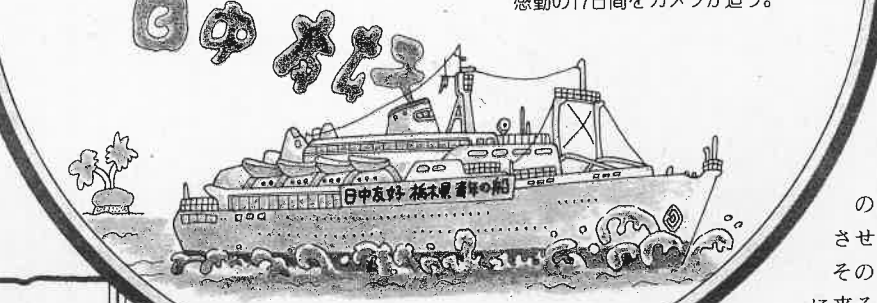
**北方の領土かえる日
平和の日**

わが国の固有の領土として返還を要求している北方領土とは、歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島の4島です。

見てください 栃木県民生活

●毎週土曜日 午前7:00~7:15 ●8チャンネル(フジテレビ)
●レポーター:高松しげお・森田由紀子・田中布佐子

- 14日...野岩線沿線風土記 (藤原町)
- 21日...全国植樹祭開催に向けて (矢板市)
- 28日...変ぼうする渡良瀬遊水地 (藤岡町)
- 5日...年末食品衛生の心構え
- 12日...青年の船—中国(天津・北京・上海)沖縄 (I) (II) (III)
- 19日
- 26日



あげよ、青春の帆! 中国に渡った栃木の若者たちの国を越え、言葉を越えた感動の17日間をカメラが追う。

生活メモ

あなたにこんな経験は? ～訪問販売のトラブル～

「先日、セールスマンの訪問を受け「新しいお菓子を売出すので説明会があります。お菓子を無料でバケツ一杯あげます。」と強く誘われて、1日だけの展示会場へ出掛けてみた。たしかに、お菓子は貰ったが、最終的には全く別な高額商品の購入契約をさせられた。家に帰ってカタログを見ると、会場での説明とは大分違うので契約を解除したいのだが…」

これは、最近多発している訪問販売の一例ですが、一般的には家庭や職場を訪問したり、街角で巧みな話術で話しかけ、喫茶店などでカタログや見本で商品の説明をして、消費者が購入の意志ははっきりしないうちに何となく売買契約をさせられてしまったという例が多いようです。そのため、トラブルが発生し、消費生活センターへ相談に来るケースがあとをたちません。そこで、どうすればよいかを考えてみましょう。

契約の解除のしかた

◇訪問販売の指定商品(書籍、レコードやテープ、健康食品など43商品群)は、契約の申込み、または、契約をした日を含めて4日間以内であれば、無条件で解約することができます。これを、クーリング・オフ(頭を冷やして考える)期間といい、契約書に記載されています。

◇クーリング・オフ期間が過ぎて解約すると、損害賠償金を支払うことになります。

◇解約の通知は、必ず書面(内容証明郵便など)でします。電話では証拠が残りません。

◇化粧品、健康食品のような消耗品を自分で使ったとき、または現金で全額支払ったときは、解約できません。

個品割賦販売とは

◇最近、最も多い訪問販売の方法です。これは、分割払いで商品を買う場合、販売業者と売買契約をすると同時に、信販会社とも分割支払の契約をするものです。

◇解約をするときは、信販会社にも書面で通知をしておくことが確実です。

◇いずれにしても、消費者自身がよく考えて判断し、必要ときは勇気をもってはっきり断るなど、トラブルを防ぐよう心がければ、訪問販売の利点をくらしの中に活かすことができるでしょう。

消費生活相談は

消費生活センター(宇都宮0286-34-3181)
県南支所(足利0284-42-8011)
市消費生活センター及び市町村消費者行政担当窓口へお気軽にお寄せ下さい。